

砂防だより



巖冬の朝（水ヶ塚公園）

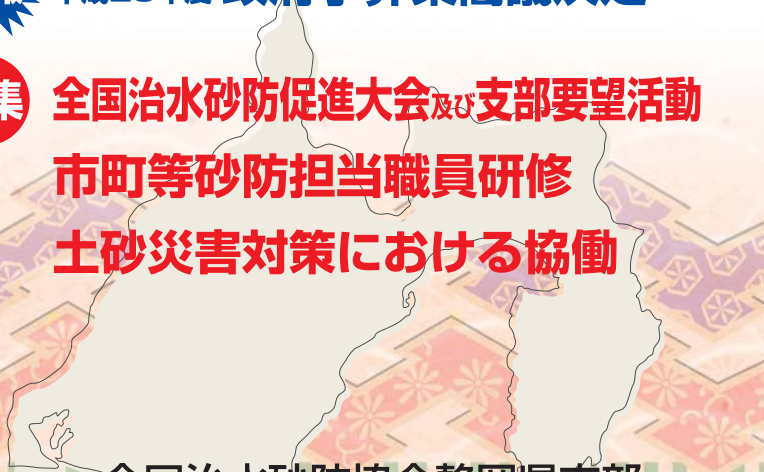
年頭の御挨拶	2
平成20年度政府予算案閣議決定	3
2007年しずおかの砂防10大ニュース	
全国治水砂防促進大会及び支部要望活動	4
市町等砂防担当職員研修	5
土砂災害対策における協働	6
治山・砂防事業推進議員連盟の視察	8
シンポジウムの開催	9
インフォメーション	10
募集・お知らせ	12



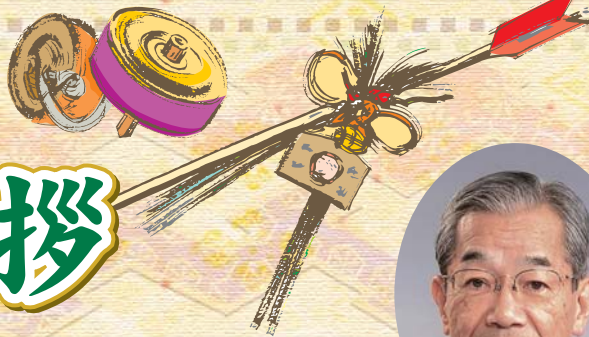
平成20年度 政府予算案閣議決定



全国治水砂防促進大会及び支部要望活動
市町等砂防担当職員研修
土砂災害対策における協働



年頭の御挨拶



全国治水砂防協会静岡県支部
支部長 石川 嘉延

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

会員の皆様には、日ごろから当支部の活動に対しまして、御支援と御協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

去年は、能登半島地震・新潟県中越沖地震や台風などにより、全国で大きな災害が発生しました。本県におきましても、台風4号や台風9号などにより、多くの土砂災害が発生しました。幸いにも、土砂災害による人的被害はありませんでしたが、全国では相変わらず大規模な土砂災害が発生しており、いつ本県で発生してもおかしくない状況であります。

本県では、県民の約9%に当たる33万人が土砂災害危険箇所に住居しており、防災施設の整備が進められておりますが、住民の生命・身体を守るためには、早期避難も非常に重要となっております。

このため、昨年6月15日に、県と静岡地方気象台で共同発表する「土砂災害警戒情報」の運用を開始し、昨年の雨期に3回33市町に発表いたしました。この警戒情報は、住民の自主避難にも役立つよう県民へテレビ・ラジオ等を通じて知らされますとともに、防災行政無線を通じて市町に伝達されますので、会員の皆様におかれましては、適時適切に避難勧告等を出す判断材料として是非とも活用されますようお願い申し上げます。

「土砂災害による死者ゼロの実現」「安心・安全日本一」を目指し、今年も砂防関係事業の普及・発展に努めてまいりますので、会員の皆様におかれましても、より一層の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げ、年頭の挨拶といたします。

2007年 しずおかの砂防 10 大ニュース

「土砂災害警戒情報」の運用開始

静岡県と静岡地方気象台が共同で発表する新しい防災情報、「土砂災害警戒情報」の運用を6月15日から開始しました。これまで、梅雨前線豪雨、台風4号、台風9号の集中豪雨時に、延べ33市町に対して発表し、土砂災害の注意を促しました。



台風4号・台風9号などで土砂災害が64件発生

規模が大きく、次期降雨等により被害が拡大するおそれがある4箇所において、災害関連緊急事業（864百万円）が採択。



建設部(8局28室)が誕生

国土交通省に加え、農林水産省、林野庁所管の地すべり対策事業も砂防室で担当することになりました。

土砂災害防止月間で広報

土砂災害警戒情報などが、テレビ(11回)、ラジオ(2回)、新聞(6紙11回)等に取り上げられ、県民だよりや静岡県議会だより、市町の広報誌(40誌)に掲載。

※順番、枠の大小、写真の有無などについては、ニュースの大小を表しておりません。

平成20年度 政府予算案閣議決定

速報

12月24日、平成20年度政府予算案が閣議決定されました。砂防関係事業の予算額は、対前年度比0.97の約1,560億円です。また、国土交通大臣が設置した砂防設備を適切に管理するため、国自らが実施する「砂防管理費」の創設が認められました。

河川局所管砂防関係事業予算【国費】

(単位:百万円)

事 項	19年度予算額(A)	20年度予算額(B)	対前年度比(B/A)
砂防(地すべり対策を含む)	140,465	135,847	0.97
急傾斜地崩壊対策	21,025	20,207	0.96
砂防関係事業計	161,490	156,054	0.97

注1) 道路関連社会資本分、特定治水及び剰余金等を含む。 注2) 計数は、整理の結果端数調整していることがある。

注3) 上記計数以外に、総合流域防災事業(統合補助金)の内数として砂防関係事業がある。

〈参考〉

総合流域防災事業	62,519の内数	56,987の内数	(0.91)
----------	-----------	-----------	--------

注) 総合流域防災事業には、砂防関係事業(砂防事業、地すべり対策事業、急傾斜地崩壊対策事業)の他、河川事業・ダム事業も含まれる。

砂防関係新規制度等

◎砂防管理費の創設(国直轄砂防事業)

その他の新規・重点事項等

◎土砂災害防止に係る税制・融資制度について

税 制：土砂災害特別警戒区域から、移転補助を受けて当該区域外に移転する際に、新たに取得する住宅又は住宅用地に係る不動産取得税の課税標準の特例措置を平成22年3月31日まで延長。

融資制度：斜面整備事業(日本政策投資銀行による融資制度)は、平成20年9月末まで継続。

県内2団体が「土砂災害防止功労者」(国土交通大臣表彰)を受賞

全国で受賞した7つの個人・団体のうち、本県の「藤枝市滝沢町内会」、「由比町立由比小学校」がW受賞しました。



砂防協会会員が有珠山火山砂防事業等を視察

8月23～25日、原田団長(袋井市長)以下22名が参加し、火山砂防の先進地有珠山(北海道)を視察しました。



土砂災害警戒区域の指定を全土木事務所で実施

平成17年度末で178箇所でしたが、18年度は504箇所を指定し、累計で682箇所となりました。

土砂災害「全国統一防災訓練」を県内10市町で実施

土砂災害警戒情報の伝達訓練や避難勧告の発令、避難訓練を行いました。

桃沢川の「水と緑の森公園」が都市景観賞を受賞

(P7参照)

環富士山火山防災シンポジウム(11/25)、大谷崩300年事業シンポジウム(10/28)開催 (P9参照)

「全国治水砂防促進大会」開催される

11月27日、全国治水砂防促進大会が砂防会館（東京都千代田区）で開催されました。

当日は、全国から1,147名が参集し、当支部からも28名の御出席をいただきました。大会に先立ち、毎日放送ラジオ局報道部大牟田智佐子副部长より「ラジオの報道～阪神・淡路大震災の経験から」と題して特別講演が行われました。

大会は、綿貫全国治水砂防協会会長の挨拶に始まり、冬柴国土交通大臣の祝辞、亀江国土交通省砂防部長の講演の後、群馬県藤岡市長、鳥取県若桜町長から意見発表が行われ、小林副会長が提言（案）を発表し、満場一致で採択されました。

大会終了後、当支部会員の皆様により、地元選出国會議員16名と国土交通省へ、平成20年度予算の確保に向けて、要望活動を行いました。お忙しい中、ご出席をいただきました会員の皆様には心から御礼申し上げます。



綿貫全国治水砂防協会会長の挨拶



冬柴国土交通大臣の祝辞



亀江砂防部長の講演



毎日放送大牟田副部长の特別講演

財全国治水砂防協会の提言

全国治水砂防協会静岡県支部の要望

1. 直轄砂防事業の推進

- ・富士山の総合的な活火山対策
- ・富士山砂防事業：大沢川源頭域調査工事、大沢川中間床固工
- ・安倍川砂防事業：大谷山腹工、ウラの沢砂防えん堤
- ・狩野川砂防事業：日向地区砂防えん堤群、丸ノ沢砂防えん堤

2. 直轄地すべり対策事業の推進

- ・由比地区直轄地すべり対策事業

3. 県による土砂災害防止施設（砂防、地すべり対策、急傾斜地崩壊対策）の整備とソフト対策の着実な推進への支援・協力

- ・東海地震に備えた防災施設の緊急的な整備
- ・火山噴火災害も想定されている富士山周辺地域の土石流対策の強化
- ・土砂災害防止法に基づく「基礎調査」の推進
- ・安全で迅速な避難のための土砂災害対策の推進



参加市町(23市町28名)

河津町、森町、伊豆市、東伊豆町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町、伊豆の国市、函南町、由比町、川根町、袋井市、菊川市、川根本町、熱海市、裾野市、長泉町、静岡市、富士川町、島田市、焼津市、磐田市、掛川市

滋賀県砂防事業で現地研修

市町等砂防担当職員研修

11月1・2日、市町等砂防担当職員研修を彦根市で開催し、28名の参加がありました。

初日は、砂防室から望月室長、廣瀬係長、齋藤主査が、各事業について説明した後に、活発な意見交換が行われました。

2日目は、滋賀県砂防課の協力を得て、土木学会推奨土木遺産となっている草津川オランダ堰堤、家棟川砂防事業を見学しました。

オランダ堰堤は、高さ7m長さ34mの階段状（20段）の切石空積み堰堤で、砂防事業を指導していたオランダ人技師ヨハネス・デ・レーケ氏の影響を受けた田邊義三郎氏が設計に関わったことから「オランダ堰堤」と呼ばれています。（明治19年に着手、3年後の22年に完成）

家棟川砂防事業は、扇状地上部から天井川を形成しており、治水上の安全性が極めて低い状況であることから、河床を最大10m掘り下げ、天井川を解消したものです。

研修内容

11月1日 ● 砂防に関する講習（彦根市）

- ・土砂災害の発生状況について
- ・砂防関係事業（ハード対策）について
- ・砂防関係事業（ソフト対策）について

11月2日 ● 現場研修（草津市・野洲市）

- ・草津川オランダ堰堤
- ・家棟川通常砂防事業（天井川解消）



草津川オランダ堰堤にて



家棟川砂防事業での研修

参加市町等

《市町》

- 静岡市、浜松市、沼津市
- 熱海市、島田市、磐田市
- 焼津市、掛川市、藤枝市
- 袋井市、裾野市、湖西市
- 伊豆の国市、長泉町、小山町
- 富士川町、由比町、川根本町

《土木事務所等》

- 沼津、富士、島田、御前崎
- 袋井、浜松、砂防室(事務局)

参加者の声

■ 浜松市天竜区役所まちづくり課 伊藤 毅さん

今年度から砂防をはじめ、今回の研修内容に係わる業務に就く事になりました。

「浜松市」とは言え、旧春野町の人間で、幼い頃から「えんてい」とか「きゅうけいしゃ」という言葉は耳にしています。次第に、えんていは「園庭」ではなく「堰堤」、きゅうけいしゃは「休憩舎」ではなく「急傾斜」だと感じ取って行ったことを思い出しました。

わが浜松市天竜区は、紅葉山や天竜美林に代表される豊かな区域ですが、急峻な山々やその谷間を縫うように流れる沢が、時に牙を剥く時があります。自然を飼い慣らす事はできませんが、自然と人間が調和し、いい関係を保つためのハード事業と、ソフト事業を推進していきたいものです。

■ 藤枝市都市建設部河川課 増田 佳明さん

行政は、土砂災害から地域の安全・安心を確保するために砂防事業を実施していますが、施設整備が確保されていない危険箇所が多数ある中、各地区の災害の危険度等を的確に掌握し、危険箇所として指定してそれを住民に説明することで危険度を知らせ、住民が自主的に避難できるようにすることが大切な役割であり、さらには、危険箇所ごとの実効性のある警戒避難体制の構築を支援していくことが、これからの課題と考えています。

また、現場研修で見学した大津市にあるオランダ堰堤は、明治時代に造られ今もなお土砂の流出を防ぐ一方で、周囲の景観を損なうことなく溪流の自然美を保全しており、素晴らしい堰堤だと感じました。

最後に、今回の研修で他県の施設を見学できたことは大変有意義であり、研修を通じた県・市町職員の意見交換、コミュニケーションを深める機会は大切に、今後も積極的に参加したいと思います。

土砂災害対策における協働

安心・安全な地域づくりと、より効率的な行政の実現のため、土砂災害に対する警戒避難体制の整備や、砂防施設等の計画策定から完成後の維持管理までの各段階において、地域住民との協働を進めています。このような取り組みの積み重ねにより県民のまちづくりに対する主体性の醸成と公共事業に対する理解の促進が期待されています。

■ 安心・安全な地域づくり

地域住民との意見交換会・ワークショップ・土砂災害防止講習会などを開催し、安心・安全な地域づくりを進めています。土砂災害に対する住民の理解が深まるとともに、住民からは過去の災害等の地域に密着した情報が得られ、避難体制の整備や事業を計画する上で有益な成果が出ています。

西川急傾斜地崩壊危険区域（浜松市天竜区龍山町）

「西川」地区は、小学校・幼稚園に近接しており、施工時の安全対策などについて学校関係者から、事業説明会などを通してご意見やご提案をいただきました。県では、これらの意見を参考に計画を進めるとともに、今後も意見交換等を続けていく予定です。

また、工事に先立ち、龍山第一小学校で出前講座を開催しました。生徒達は、ハザードマップなどを使って、学校や自宅周辺にある土砂災害危険箇所について熱心に勉強しました。



出前講座で危険な所を調べたよ

静岡市平野地区で警戒情報説明会を開催

12月2日の「地域防災の日」に、静岡市葵区平野地区自主防災会で地域防災訓練が行われ、このなかで砂防室職員を講師に「土砂災害警戒情報説明会」が開催されました。

訓練には子供からお年寄りまで地区住民約70名が参加し、「土砂災害警戒情報とは?」、「発表された時はどうするか?」という説明を熱心に聴いていただきました。平野地区では、「自主避難ルールと危険箇所マップ」を住民自ら作成しており、土砂災害警戒情報を自主避難に活用しようという意識が強く感じられました。



住民が作った「危険箇所マップ」

土砂災害防止講習会等の実施

静岡県では、土砂災害防止に関する知識の県民への普及のため、自主防災会等との協働による土砂災害講習会や小中学校への出前講座などを行っています。また、土砂災害講習会の受講者の中から土砂災害危険箇所のある地区の受講者を「防災連絡員」として登録し、土砂災害危険箇所における平常時の監視体制の強化や警戒避難体制の支援を図っています。

職員を派遣しますので、市町で実施している防災講座等に積極的に御活用ください。

平成19年度 土砂災害防止講習会

平成19年12月31日現在

市町名	実施日	自主防災組織等の講習会名	会場	対象者	参加人数
菊川市	5月10日	菊川市自主防災活動説明会	菊川文化会館アエル	自治会長、防災会長	300人
下田市	5月27日	ミニ防災講座	稲生沢中学校	消防団、自主防災会、住民等	50人
浜松市	5月27日	土砂災害防止講習会	犬居小学校	若身自主防災会	50人
藤枝市	5月31日	地域防災指導員養成講習会	藤枝市役所	各自主防災会、消防団OB等	100人
三島市	6月5日	自主防災組織事務説明会	三島市社会福祉会館	自主防災組織役員等	170人
川根町	7月27日	土砂災害防止法説明会	川根町民センター	町内会役員	23人
御前崎市	7月30日	総合防災訓練説明会	御前崎市役所	町内会長・防災委員	140人
静岡市	12月2日	H19地域防災訓練	平野公民館	平野地区住民	70人
8市町					903人

■ 維持管理の協働 ～砂防サポートプログラム～

維持管理の協働は、ボランティア団体と県が役割分担を決め、協定を締結する「砂防サポートプログラム」として取り組んでいます。住民が中心となって定期的な清掃・美化・森づくり活動を行い、県はアダプトサイン（標識）の設置、作業用資機材の貸与などの支援を行っています。

静岡市都市山麓グリーンベルト・大内地区（静岡市）

静岡市清水区大内地区では、地元住民が中心となって組織する「森と水辺を育てる会」と協働で、土砂災害に強い砂防樹林帯づくりを進めています。

主な作業は、放置竹林の間伐、管理道路の整備や樹種転換ですが、その他に、タケノコ掘り、梅の実の収穫、竹炭作りなど楽しみながら里山の維持管理を行っています。また、子供達の体験学習の場として、PTAボランティアと一緒に、竹筒でご飯炊き、門松作りなども開催しています。



みんなで作った門松やしめ飾りと…

平成19年度の実施箇所

区分	事業	市町	箇所名	協働の内容
安心・安全な地域づくり	砂防	島田市	小胡挾沢	砂防えん堤計画について意見交換会を実施
	急傾斜	浜松市	西川	急傾斜の対策工法について意見交換会を実施
維持管理	急傾斜	静岡市	丸子芹が谷地区	急傾斜施設周辺の美化活動を実施
	砂防	静岡市	静岡グリーンベルト	砂防サポートプログラムの継続実施
		長泉町	桃沢川	
		岡部町	木和田川	
		金谷町	童子沢	
富士宮市	弓沢川			

森と水辺を育てる会：管理道設置（静岡市グリーンベルト）
横添ふるさと会：草刈（木和田川）

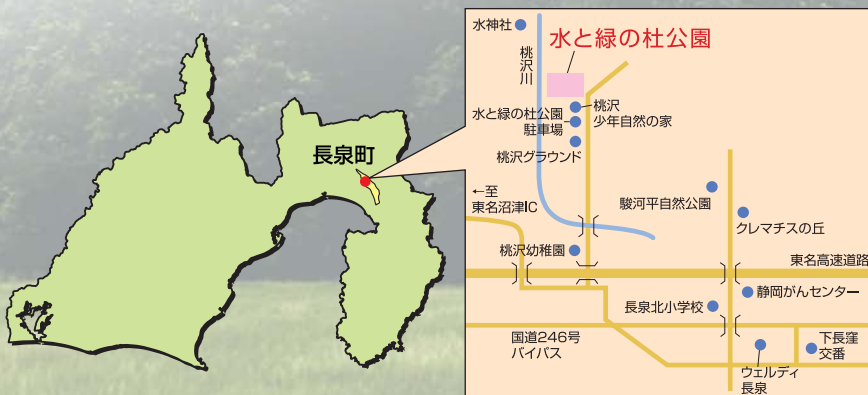
桃沢川の「水と緑の森公園」が都市景観賞を受賞

水と緑の杜公園（長泉町）が、第20回静岡県都市景観賞の優秀賞を受賞しました。

この公園は、桃沢川の砂防事業（砂防えん堤工と景観に配慮した溪流保全工の整備）にあわせて長泉町が公園整備を行ったもので、芝生広場や遊歩道、吊橋、四阿（あずまや）、バイオトイレなどが整備されています。公園と一体となって利用される管理道や遊砂池等の砂防施設や公園施設は、砂防サポートプログラムとして、MAC（桃沢川から愛鷹山を考える会）と静岡県、長泉町が協定を結び、MACが維持管理活動を行っています。



「水と緑の森公園」と桃沢川砂防事業



治山・砂防事業推進議員連盟が砂防事業を視察

12月18日に、水と豊かな生活環境の創造と安心して暮せる社会基盤の整備を目標に、砂防事業の推進を目指す「静岡県議会 治山・砂防事業推進議員連盟」が、浜松市天竜区の砂防事業等の現地視察を行いました。

今回の視察には、会員72名のうち29名が参加し、平成18年7月に大規模な斜面崩壊が発生し、渓流内に土砂が流入した、河内沢川の災害関連緊急砂防事業の状況などを視察しました。当箇所は、崩壊した山腹斜面対策を治山、下流の中学校や国道への土石流対策を砂防と、連携して事業を実施しており、県民が安心・安全に暮せる社会を実現するためには、土砂災害防止事業が非常に重要であると、再認識していただきました。

視察地

- ➔ 河内沢川災害関連緊急砂防事業
- 河内沢川災害関連緊急治山事業
- ➔ 仙堂復旧治山事業
- ➔ 東雲名島急傾斜地崩壊対策事業



河内沢川（浜松市天竜区龍山町瀬尻）にて



参加議員29名（敬称略、順不同）

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| 奥之山 隆（自民） | 中沢 公彦（自民） | 岡本 護（平成21） |
| 前沢 侑（自民） | 鈴木 洋佑（自民） | 源馬謙太郎（平成21） |
| 野澤 義雄（平成21） | 小楠 和男（自民） | 阿部 卓也（平成21） |
| 谷 卓宜（公明） | 渥美 泰一（自民） | 早川 育子（公明） |
| 杉山 盛雄（自民） | 中谷多加二（自民） | 高田 好浩（公明） |
| 小野登志子（自民） | 原文雄（平成21） | 前林孝一良（公明） |
| 宮沢 正美（自民） | 櫻町 宏毅（平成21） | 小長井由雄（民無ク） |
| 山田 誠（自民） | 四本 康久（平成21） | 小田巻 進（民無ク） |
| 中澤 通訓（自民） | 佐野 愛子（平成21） | 大岡 敏孝（無所属） |
| 竹内 良訓（自民） | 三ツ谷金秋（平成21） | |

いつでも安心・安全日本一を目指します。

建設部では、職員の意識の統一を図るため、各局・各事務所で基本理念（CI）及び行動指針を決め、ポスターを作製しています。河川砂防局の基本理念（CI）及び行動指針は、「河川砂防局は、いつでも安心・安全日本一を目指します。」で、3つのポスターを作製し、取り組んでいます。



大谷崩300年事業シンポジウムが開催される

10月28日、大谷崩300年事業シンポジウムが静岡県総合研修所「もくせい会館」で開催されました。

「大谷崩」は、宝永4年（1707.10.28）の宝永地震から崩れ始め、今年で300年を迎えました。シンポジウムは、「大谷崩と生きる～崩れ文化の継承と静岡のあした～」をテーマに、これまで行った4回のワークショップの集大成として開催されました。

シンポジウムでは、「日本の明日を拓く国際都市静岡のために」をテーマに鼎談を、「大谷崩と生きる静岡のあした」をテーマにパネルディスカッションが行なわれました。



シンポジウムの様子

環富士山火山防災シンポジウムが開催される 全国治水砂防協会後援

11月25・26日、環富士山火山防災シンポジウムが富士宮市民文化会館で開催されました。

シンポジウムは、富士山が今から300年前の宝永4年(1707.12.16～1708.1.1)に南東斜面で大噴火したことから、「宝永噴火から300年 どう備える、富士山噴火」をテーマに、住民と行政による富士山火山防災の取り組みを強く進めていくことを目的に開催されました。

25日午前中は、火山防災に関する国際ワークショップが行われ、午後のシンポジウムは、NPO法人防災情報機構の伊藤和明会長による「1707年富士山宝永噴火について」をテーマとした基調講演の後、亀江国土交通省砂防部長をコメンテーターとして、地元中高校生を交えたパネルディスカッションが行われました。

また、26日は、大沢扇状地での火山砂防事業や水ヶ塚駐車場での宝永火口などの見学会が行われました。



ワークショップの様子



富士宮市長の挨拶

火山砂防フォーラムが開催される



宮崎県知事の挨拶

10月25・26日、2007火山砂防フォーラムが宮崎県都城市で開催されました。

フォーラムでは、宮崎県と鹿児島県の県境に位置する活火山「霧島山」にスポットをあて、鹿児島大学理学部井村准教授の特別講演のほか、宮崎県立都城農業高等学校の生徒から霧島山の火山防災についての研究が発表されました。また、火山防災における地域連携をテーマに地元都城市長ら7名で座談会が行われ、活発な意見交換がなされました。

東海地区直轄事務所長・砂防担当課長会議が開催される

11月29日、東海地区直轄事務所長・砂防課長会議が長野県松本市で開催されました。会議には、中野国土交通省砂防計画課長、中部地方整備局の大石地域河川課長をはじめ、東海地区の直轄事務所長と各県砂防主管課長が出席し、土砂災害防止法の区域指定の促進、法第7条に規定されている区域指定後の警戒避難体制の整備の徹底、土砂災害警戒情報の活用による避難勧告の発令、大規模土砂災害時の国と県の連携などについて、活発な意見交換が行われました。



会議の様子

土砂災害防止法に関するブロック会議・全国会議が開催される

11月8日に土砂災害防止法東海ブロック会議が中部地方整備局で、11月22日に土砂災害防止法全国会議が三田共用会議所（東京都港区）で開催されました。

全国会議には、中野国土交通省砂防計画課長をはじめ、土砂災害防止法と警戒情報の国・県の担当者が参加し、土砂災害警戒区域等の指定の促進や、特別警戒区域に関する課題のほか、全国治水砂防協会本部からのアンケートの結果を踏まえ、住民の早期避難への土砂災害警戒情報の活用について、熱心な議論が行われました。



全国会議

ブロック会議

砂防学会シンポジウムが開催される

10月18・19日、砂防学会シンポジウムが新潟県朱鷺メッセ（新潟市）で開催されました。

シンポジウムでは、近年採用が増えている透過型砂防えん堤の効果や維持管理等についてパネルディスカッションが行われました。

現地見学会では平成16年新潟県中越地震により多大な被害を受けた長岡市（旧山古志村）と小千谷市の復旧状況を見学しました。



斜面崩壊復旧状況：長岡市妙見町 皆川優太ちゃん救出地

滋賀県砂防協会が静岡県の砂防事業を視察

10月11・12日、滋賀県砂防協会の会員など22名が、静岡県の砂防事業を視察されました。

初日は、木和田川で登録有形文化財の砂防えん堤や砂防学習ゾーンモデル事業、維持管理の協働（砂防サポートプログラム）、宇津ノ谷峠（静岡市・岡部町）を貫く4本のトンネル（明治・大正・昭和・平成）、つたの細道などを視察されました。

2日目は、富士砂防事務所から由比地区の直轄地すべり対策事業の説明をしていただき、由比地すべり管理センターなどを視察されました。



滋賀県砂防協会のみなさん（木和田川にて）

平成19年度静岡県砂防・治山連絡会議を開催

12月17日、平成19年度静岡県砂防・治山連絡会議を県庁で開催しました。会議には、国土交通省中部地方整備局、静岡河川事務所、沼津河川国道事務所、富士砂防事務所、関東森林管理局、静岡森林管理署、伊豆森林管理署、天竜森林管理署、大井川治山センター、県砂防室・森林保全室の各機関が出席し、来年度以降予定されている砂防事業、治山事業が効率的に実施できるよう協議・調整を行いました。



会議の様子

砂防研究報告会が開催される

10月3・4日、「第20回（平成19年度）砂防研究報告会」が砂防会館で開催されました。研究報告会は、「砂防設備の影響検証を含めた総合土砂管理のための土砂移動モニタリング」、「砂防施設の維持、修繕技術について」、「トータルコストに配慮した土砂災害対策」、「土砂災害情報提供と警戒避難における課題について」、「大規模土砂災害の対応について」の5分科会に分かれ、各行政機関の日頃の研究成果が報告され、意見交換が行われました。

東海4県砂防担当者会議を熱海市で開催



会議の様子

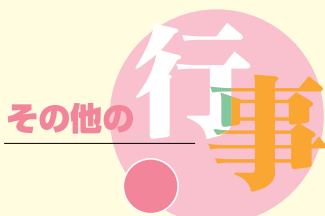
10月15・16日、東海4県砂防担当者会議を熱海市で開催しました。15日の会議では、国土交通省砂防計画課の木下計画係長をはじめ、東海4県の砂防担当者により、砂防事業の実施上の課題について活発な意見交換が行われました。また、16日の現地研修では、平成16年に土砂災害が発生した伊東市宇佐美の名草沢や烏川等で、活発な意見交換が行われました。

全国がけ崩れ対策協議会 研究発表大会が開催される

11月15・16日、全国がけ崩れ協議会第61回研究発表会が岩手県盛岡市で開催されました。国土交通省保全課の綱川課長補佐より「斜面行政をめぐる最近の話題」と題した講演が行われ、各県担当者等から10件の発表が行われました。本県関係では、「静岡県伊豆市土肥地区で発生した地すべりと対応について」と題し、7月23日に国道136号で発生した地すべり災害の現状と対策が、独立行政法人土木研究所の石田主任研究員により発表されました。いずれの発表についても、活発な意見交換が行われました。



古賀危機管理技術研究センター長の講評



- | | | |
|--------|--------|------------------------------|
| 19年10月 | 19日 | 第4回事業評価監視委員会 |
| | 23日 | 富士山火山防災対策に関する連絡調整会 |
| | 31日 | 全国がけ崩れ対策協議会 地すべり現地討論会（京都府） |
| 11月 | 6日 | 第5回富士山火山砂防計画検討委員会（富士市ロゼシアター） |
| | 21・22日 | 全国火山砂防担当者会議及び火山都市国際会議島原大会 |
| | 29日 | 東海地区地すべり急傾斜担当者会議（岐阜県） |
| 12月 | 6・7日 | 中部地区砂防技術研修会（長野県） |
| | 11日 | 土石流・流木対策技術指針に関する講習会（砂防会館別館） |

お知らせコーナー

第48回 砂防および地すべり防止講習会

砂防および地すべり対策業務を担当する中堅職員の実務並びに関連知識の習得を通じ、今後の円滑な業務の遂行に資するため、講習会が開催されます。

日 時：平成20年3月13・14日
 会 場：砂防会館別館1階「利根」
 参加費：5,000円
 主 催：全国治水砂防協会 TEL (03) 3261-8386
 問合せ先：全国治水砂防協会静岡県支部 TEL (054) 221-3042

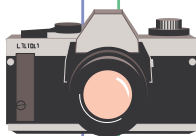


土砂災害防止写真コンテスト

荒廃山地や土砂災害、普段の暮らしや自然の中にある砂防施設、その他土砂災害防止に関連のあるものをテーマに、写真を募集しています。

応募資格	制限はありません
サイズ	白黒、カラー写真とも四切り (パノラマ可、単写真のみ)
締 切	平成20年3月31日(消印有効)

《お問い合わせ先》
 (社)全国治水砂防協会 写真コンテスト係
 TEL (03) 3261-8386
 詳しくはホームページ
<http://www.sabopc.or.jp/> をご覧ください。



2008 砂防カレンダー 「現場周辺の山・谷・川」写真コンテスト

砂防関係工事や、その周辺の仕事・暮らし・余暇活動・山・崩れ・溪流・滝・花・動物等をテーマに、写真を募集しています。

応募資格	制限はありません
サイズ	カラー写真で四切り
締 切	冬の写真／平成20年3月31日(消印有効) 春の写真／平成20年6月30日(消印有効)

《お問い合わせ先》
 NPO法人 砂防広報センター
 TEL (03) 3239-1711 (代表)
 詳しくはホームページ
<http://www.sabopc.or.jp/> をご覧ください。



- 支部活動予定
 - 1月 22日 東海地区全国治水砂防協会支部長・砂防課長会議(掛川市)
 - 2月 静岡県砂防ボランティア協会総会
 - 5月 29日 静岡県支部通常総会(静岡市)
 - 6月 1日 土砂災害に対する全国統一防災訓練
- 協会本部活動予定
 - 3月 13・14日 砂防および地すべり防止講習会(砂防会館)
 - 5月 20日 評議員会・参与会(砂防会館)
 - 21日 第72回通常総会(砂防会館)

【表紙写真】



厳冬の朝 <水ヶ塚公園>
 伊藤 峰雄さん(富士市)

※砂防協会では表紙に掲載する静岡県内の写真を募集しています。皆様のご協力をお願い申し上げます。詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。

編・集・後・記

新年あけましておめでとうございます。昨年、市町等砂防担当職員研修をはじめ、全国治水砂防促進大会及び要望活動に同行させていただきました。すべてが初めての経験で、なかなか予定どおりにはいきませんでした。参加者の方々をはじめ、関係各位の御協力を得て、無事努めることができましたことを御礼申し上げます。年頭にあたり、会員皆様方の御多幸を祈念しますとともに、本年も砂防だよりをご愛読いただきますよう併せてお願い致します。

砂防だよりは砂防室ホームページからもご覧いただけます。HPアドレス：<http://doboku.pref.shizuoka.jp/sabou/index.html>